

正副議長記者会見について

記

1 定例会の総括について

- 今期定例会は、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開催した。
- 市長から提出された案件は、人事案件を含め、計58件を可決した。
- 議員提出議案は、「南部丘陵の緑地保全に関する決議」等、計9件を可決した。

【市長等特別職の退職手当関係条例について】

- 当該3条例は、8月定例会において、閉会中の継続審査となっていたもの。
- 12月16日の総務財政委員会において審議を行い、委員から「市長が自身の任期中の退職金を廃止することや、自身が任命した特別職の任期中の退職金を決めたことに異を唱えるものではないが、退職手当制度そのものを廃止することについては、慎重な議論が必要である。そして、平成27年2月の堺市特別職報酬等審議会の答申では、特別職の退職手当額は現行に据え置く。また、退職手当制度は現行の制度を維持することが適当であるという答申がされている」、また、「本議案に対して反対するという判断は、直近の民意である堺市長選挙の市民の声を蔑ろにするものである。堺市長選挙で、市長の退職金制度の恒久的廃止を掲げた永藤市長への信任が示された結果を、議会は最大限尊重すべき」などの意見が出された。
- 12月20日の本会議において、「市長等の退職手当の特例に関する条例を廃止する条例」は可決され、「市長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」及び「副市長等の退職手当の特例に関する条例」は否決された。

【令和元年度堺市一般会計補正予算（第3号）について】

- 本件について、主に議論となったのは、百舌鳥古墳群ガイダンス施設の建設中止に伴う予算減額や、ガイダンス機能の整備など、百舌鳥古墳群ガイダンス施設等整備事業に関する補正予算の部分である。
- 本会議において、議員から「来訪者を迎えるおもてなしの周辺環境整備について、ガイダンス施設、カフェ、飲食、物販が点在していることが正しいのか疑問が拭えない。また、レストハウス内にガイダンス施設を整備することは、限られたスペースに観光案内所や休憩スペースなどの様々な機能を詰め込むこととなり、周遊の促進を図ることができるのか疑問である。大仙公園エリア一帯の整備について、旧大阪女子大跡地の活用も含め、拠点同士を結ぶ、ストーリー性を持った効果的な整備が重要」との考えが示された。
- 本議案は、12月12日の産業環境委員会の審議を経て、12月20日の本会議において可決された。

【堺市職員等の旅費に関する条例及び堺市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について】

- 本議案は、市長、副市長、教育長及び常勤の監査委員に支給する内国旅行の宿泊料の額について、定額支給から実費支給に見直しを行うものであり、あわせて議会議員についても改正されるもの。
- 本議案は、12月16日の総務財政委員会において審議を行い、様々議論されたが、「議会では宿泊料の改正にあわせて、旅費の取扱いを協議しており、現時点において議論しているところである。議会の議論を深化させるため」との理由から、閉会中の継続審査の申し出が行われ、12月20日の本会議においても閉会中の継続審査とすることが可決された。

【全会一致の決議・意見書について】

- 今期定例会で可決した決議・意見書は9件である。
- このうち、全会一致で可決された意見書は以下の7件である。
 - 「南部丘陵の緑地保全に関する決議」
 - 「令和元年台風第19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書」
 - 「「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書」
 - 「スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書」
 - 「重度重複障害者が保護者亡き後も安心して生きられる支援制度の改正を求める意見書」
 - 「気候非常事態宣言に関する決議」
 - 「障がい児・者の生きる基盤となる「暮らしの場」の拡充を求める意見書」

2 記者からの質問に答えて

【気候非常事態宣言に関する決議について】

Q この決議は、政令市初とか近畿の議会で初といったものになるのか。

A 詳細はわからないが、鎌倉市がこの宣言の決議を採択されているようである。

Q 議会が全会一致で可決したということであるが、市長自身は先ほどの市長記者会見において今すぐに宣言するということは考えていないと言っていたが、せっかく全会一致で可決したということなので、議会としてはどのように働きかけていくのか。

A その発言について確認ができていないので申し訳ないが、(再度記者に市長の発言を確認し)、議会の決議、全会一致ということを重く感じてほしい。この夏も台風の風水害など全国的に大きな被害を及ぼしているので、気候に関して議員は特に敏感になっているところは多々あると思う。今期の議論も災害対策が非常に大きな話題となっている。全会一致の気候非常事態宣言に関する決議に関しては、全員が賛同しているわけなので、そのあたりは議会としてはくみ取っていただきたいと思う。

(副議長)

堺市はSDGs未来都市ということで、その目標達成に向けて進んでいるなかで、この気候非常事態宣言を堺市としてしっかり宣言して、そういう環境にも向かっていく、取り組んでいくということを市としてめざしてほしいというのが全議員の思いである。市長には今後勉強し、また考えてもらって取り組んでもらえたらと思う。

【堺市職員等の旅費に関する条例及び堺市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について】

- Q 旅費の起算の場所をどこにするかというところで、意見が合わなかったそうだが、複数の会派、議員が議会の内外で名前や写真を挙げてお互いを非難するという状況になっている。外から見ていると何をしているのかと感ずる状況だが、議長等がイニシアチブをとって話をまとめることは難しかったのか。
- A 条例の中身について議論の推移をみると、条例の実費に関する部分はほぼ全議員が了解いただいている状況である。いろいろと議会運営委員会に諮って、全議員一致で議案が採決されるような形を取りたいとは思っていたが、同委員会の中でも（例えば新大阪までの）旅費についてこの際しっかりと議員間の議論を深めながら、全員で一致したものになりたいという思いが強く、激論を戦わせていたので、最後はどうしても全員による一致がみられなかったということである。今日の討論の中でも確かに名指しでということも意見として見受けられたが、意見にあったとおり次回の定例会ではお互いに協力してこの議案が通過するものと期待している。

【議会報告会について】

- Q 今年11月の議会報告会は例年の一般募集のスタイルで行われ、実際に参加された方に聞くと議員と話が出来てよかったという声もあったが、最初、参加者が少なく苦勞したという話を聞いた。もしかしたら、議会報告会がややパターン化していることも参加者が集まりにくい理由の一つではないかと思うが、議長自身が感じた課題等があれば教えてほしい。
- A 今回のテーマの一つである、災害対策については正副議長でよく相談のうえで決めた。昨今、特に昨年大阪でも台風21号の被害を垣間見て、堺でもしっかりとした議論を議会での議論だけではなく、生の声を聴いてほしいという声が特に大きかったと聞いている。時節的に台風被害が大きい時点で出来ればよかったのかもしれないが、そういった意見を今年にかけて吸い上げてきて、今回の議会報告会の形になった。おっしゃるとおり、当初参加者がなかなかということもあったが、最終的には災害対策について、市民の方に熱心に議論いただいた。また、もう一つのテーマである百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録についても、本年度の議会報告会で議論させていただいたところ、非常に多くの意見がでたのでよかったのではないかと思う。特に古墳群の見え方などは今期の本会議、委員会においても様々議論もあり、ドローンの活用など、細かなところまで、市民の皆様からの声を受けて出来たと仄聞している。そのあたりのテーマについては遅まきながら、今回の議会報告会はよかったと感じているし、参加者からも自主防災の意見を聞いてもらえてありがたかったという声は聞いている。ただ、おっしゃる通り、議会報告会については、今後どういったものがいいのかについては、形上も含めて同じことを続けるのか、それとも形を変えていくのかということは次回にかけて課題として残っていくのではないかと考えている。前回は高校生、前々回は堺市自治連合議会と特定の方が続いていたので、今回は一般募集でご意見を聞く形を取らせていただいた。あり方については、子ども議会等いろいろな形があると思うが、これは市長の協力ができない議会報告の形（模擬議会等）になるので、当局にも一度諮りながら進めていきたい。

【市長等特別職の退職手当関係条例について】

- Q 現市長個人に限って廃止するのはやぶさかではない、けれども制度そのものを廃止するのはいかなるものかという声があったと伺ったが、それが大勢を占めたということか。
- A 今日の議論も含め、総務財政委員会等の一連の議論を思い起こすと、大勢的には退職金について永藤市長の任期中だけに限ってということは、特段反対しているような意見はなかったと思う。ただ、条例上の退職金制度そのものを廃止することは、永藤市長は良いかもしれないが、次の市長の時に再度条例を制定しないといけないのではないかという意見もでていた。